

平成30年度 第2回 地方独立行政法人東金九十九里地域医療センター評価委員会会議録

日 時 平成30年8月7日（火）午後1時から午後3時35分まで

場 所 東金市役所 3階 第1委員会室

出席した委員

荒木 かすみ 九十九里町議会議員
岡田 就将 千葉県健康福祉部保健医療担当部長
鈴木 紀彰 国保直営総合病院君津中央病院名誉院長
寺口 恵子 公益社団法人千葉県看護協会会長
樋口 幸一 公認会計士
松尾 晴介 千葉県病院局副病院局長
宮山 博 東金市議会議員
(敬称略、五十音順)

欠席した委員

飯田 加奈恵 城西国際大学水田記念図書館館長
佐野 勇一 株式会社ちばぎん総合研究所経営コンサル第一部部長
古川 洋一郎 山武郡市医師会副会長
山本 修一 千葉大学医学部附属病院長
(敬称略、五十音順)

会議概要

1. 開会（午後1時） 司会 石渡医療担当部長
2. あいさつ 設立団体 大矢町長
地方独立行政法人東金九十九里地域医療センター 増田理事長
3. 報 告
・東千葉メディカルセンターの運営状況について
4. 議 事
・第1号議案 地方独立行政法人東金九十九里地域医療センター
第2期中期目標に係る業務実績報告書に対する意見聴取について

○主な意見・質疑（概要）

議事1 第2期中期目標に係る業務実績報告書に対する意見聴取について

■第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためと
るべき措置

中項目1 救急医療

●救命救急センターとして重篤救急患者に対して、24時間365日体制で高度で専門的な医療を提供し、広域的な患者の受入に対応したことについては評価できる。今後、回復期の通院などを考慮し、地域のクリニックとの強い連携を期待したい。医療連携も必要だが、身近な病院、地域に密着した病院になってほしいという住民の声も寄せられている。

●逆紹介では、例としてリハビリが必要な患者に対して、専門病院を紹介していると思うが、もう少しきめ細かい対応も必要と考える。

中項目2 地域の中核病院として担うべき医療

(1)小児医療・小児救急医療

●これまでなかった小児医療への取組みは重要なことであり高く評価できる。今後、積極的な周知をお願いしたい。

●小児診療については、日本中で破綻しかかっている状況がある。住民にもきめ細かいアピールをしながら、現状にあった診療が必要。小児科医の人数が少ないこともあり、難しい問題である。

(2)周産期医療

●少子化が進む中で、周産期医療に対する取組みについては評価できる。設備の優位性や手術の体制、母子への配慮などアピールに努めていただきたい。

(3)災害医療（事前意見あり）

(4)感染症医療 特になし

(5)急性期医療の効率化に必要な病棟運営（事前意見あり）

中項目3 高度専門医療

(1)4疾病（がん・脳卒中・急性心筋梗塞・糖尿病）への対応

●死亡原因の第1位であるがん治療に対し、病状に応じた専門的な治療を期待している。

地域がん診療連携協力病院の指定取得に向けて、早期に取り組んでいただきたい。

糖尿病については、青年期から教育が予防をするうえで重要であると考えている。今後、住民を対象とした糖尿病教室の輪をさらに広げ、地域の学校などを対象とした出張講座の開催を期待している。

維持透析療法については、引き続き東千葉メディカルセンターの治療を希望している患者への対応を検討していただきたい。

⇒維持透析療法については、病院の性質上、急性期の患者に対応している状況であることから、病診連携のなかで地域の医療機関と連携を図りながら、治療対応をしていることが現状である。

糖尿病については、市民公開講座を開催しており、項目のなかに若者向けの内容も取り込んでいけるよう検討したい。【宇野事務部長】

●学校や仕事の都合で、講座に参加できない方もいるので、開催に当たっては配慮、工夫をしていただきたい。維持透析について、急性期後も引き続きメディカルセンターで治療していただきたいという声も聞かれている。

(2)高度で専門性の高い医療

●昨年度購入したMRIなど、高度な医療機器の有効利用を図るため、地域のクリニックとの連携に期待しているが、どのような利用形態なのか伺いたい。

⇒地域連携の中で、医師会の協力も得ながら、共同利用について説明会を実施している。ホームページにも掲載している。一般的な医療機関では、設置できない高度な医療機器であるため、共同利用という形で地域の医療機関に利用いただきたいと考えている。【宇野事務部長】

●MRIやCTなどは一般の診療科では持てないものであり、オープンで利用できるようにしていることは非常に良いが、実際の利用実績はどのようになっているのか。

⇒共同利用の実績については、歯科口腔外科が中心であり、平成28年度は7件、平成29年度は22件の実績がある。【宇野事務部長】

⇒共同利用については、クリニックの先生方の考え方によるところが大きく、読影まで行っているが、なかなか実績に結びつかないのが現状である。【増田理事長】

中項目4 安全・安心で信頼される医療

(1)医療安全対策の徹底

●インシデントレポート数、インシデントレベル毎の報告件数等の年度比較をすることが望ましい。医療安全研修は、回数だけでなく、職員が理解し、治療に当たることが重要であることから、参加率も示していただきたい。

⇒研修について、欠席者にはDVDによる受講を行っており、ほぼ100%の受講率である。【宇野事務部長】

●感染症の専門看護師が養成できたことは、非常に心強い。

●計画において、医療安全管理マニュアル等の各種のマニュアルを整備することとなっているが、実際に整備したのか。マニュアル整備だけでなく、職員に理解させることが大切である。

⇒すでに整備しており、随時改定している状況である。【宇野事務部長】

(2)患者の視点に立った医療の実践 特になし

(3)医療の標準化と診療情報の分析 特になし

(4)法令・行動規範の遵守（コンプライアンス） 特になし

中項目5 患者・住民サービスの向上

(1)利用しやすい病院づくり (事前意見あり)

(2)患者の待ち時間への配慮

●窓口の効率化は評価できる。待ち時間の対応については、来院者の中でも特に患者の体調に配慮をお願いしたい。

(3)患者・来院者の利便性への配慮 特になし

(4)住民への保健医療情報の提供 特になし

(5)広報活動の充実

●設立団体の広報を活用した情報提供は効果的であり、住民により身近な病院に感じられている。この取組みは評価に値するものであり、今後も継続していただきたい。

(6)職員の接遇向上

●新しい病院ということもあり、利用者からは敷居が高い印象がある。「声をかけやすい雰囲気づくり」を心掛けていただきたい。

⇒厳しいご意見があることも理解している。受付職員や警備、清掃職員などは、患者さんに最初にお会いすることが多いので、病院の顔であることを意識するよう心かげるよう、引き続き研修等を通じて接遇の向上に取り組んでいきたい。【宇野事務部長】

●派遣職員の入れ代わりが多いことも要因。また緊急を要する方やウォークインで来る方も多く、そうした患者さんへの対応に配慮いただきたい。

⇒夜間時の体制などもあるが、出来る限りの対応は行っていきたい。デジタルサイネージを利用したわかりやすい案内等も検討している。【宇野事務部長】

中項目6 地域医療への貢献

(1)地域医療機関等との連携推進

●地域医療連携パスは、患者の希望を配慮しながら進めていただきたい。

医療・介護・自治体と地域住民を結ぶ地域包括ケアシステムの構築は重要な課題であると考えている。東千葉メディカルセンターには医療機関の中核として、積極的な取組みに期待している。

(2)保健福祉行政等との協力 特になし

(3)疾病予防の取り組み

●住み慣れた地域で住み続けるために、健康寿命を延ばすことが重要であると考えている。人間ドックや検診など、今以上の予防医療に取り組んでいただきたい。

●人間ドックを要望する声が多いが、どの様な検討を行ったのか伺いたい。

⇒地域においても複数の人間ドックを実施している病院があることから、精密検査等をメディカルセンターで対応している状況である。病院周辺に様々な企業があり社員も相当おられることから、そういった需要を取り込むことは可能かもしれないが、現状においては難しい。【宇野事務部長】

⇒健診業務は、簡単ではなく、現状の医療スタッフでは対応不可能である。【増田理事長】

●人間ドック等は、現在のメディカルセンターの経営状況を踏まえると、優先課題とは言えない。他の部分がある程度できてから取り組んでいけば良いのではないかと。

中項目7 メディカルセンターの段階的な診療科の開設と病棟の開棟 特になし

■第3 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためのとるべき措置

中項目1 効率的かつ効果的な業務運営体制の整備

(1)効率的かつ効果的な業務運営体制の整備

●変更後の中期目標において追加された部分について、具体的な取り組み状況を教えていただきたい。

⇒病院の運営状況や中期計画に関することなどを職員に説明し、情報の共有化を図っている。【宇野事務部長】

●職員のモチベーションなど、具体的な成果はあったのか。

⇒ホームページの作成などにおいては、職員からも改善に向けた様々な意見が出されている。【宇野事務部長】

●成果をあげるには、現場の職員の意識を変えていく必要がある。こうした取り組みを今後も継続して、経営に反映していただきたい。

●経営検討会議での様々な意見はどのように反映されているのか。

⇒毎朝、執行部会を開催しており、その日の状況や今後の運営について意見交換を行っている。また、各委員会においても情報共有を図っている。【宇野事務部長】

●運営会議等において、中期計画に沿った進捗管理が重要であるが、職員に周知されているのか。

⇒運営会議のほか、中期計画等の現状についても報告している。【宇野事務部長】

(2)人員配置の弾力的運用

●時間外の抑制に努めるとともに、時間外増加による職員の体調管理に配慮していただきたい。

他の医療機関との人事交流を進め職員のスキルアップに努めていただきたい。

⇒人事交流については、相手方との協議も必要である。県からの派遣看護師が15名在籍しており、そうした側面から県立病院のノウハウも取り入れるようしている。職員からも他の医療機関の視察希望もある。【宇野事務部長】

●患者数の増加分の人員は確保されており、人件費比率から考えると決して少ないとは言えないため、時間外22%増については、詳細な分析が必要と思われる。これから病床を拡充していく際に非常に問題となる。

⇒職種別では、増加分のなかで医師が占める割合が35%、看護部29%、事務部が16%となっている。36協定の制度等の周知も図り、職員個々にも考えてもらうように対応している。【宇野事務

部長】

(3)人事評価制度の導入 特になし

(4)外部評価

●専門家の活用実績について具体的な内容を伺いたい。

⇒昨年度、病院運営検討会議を5回開催し、設立団体のほか千葉県、千葉大学医学部附属病院、有識者などから、経営改善に向けた取組など様々な意見を頂戴した。【宇野事務部長】

●具体的な実行計画はどのようになっているのか。

⇒第3期中期計画や年度計画において、指摘事項等の改善を図っていききたい。【宇野事務部長】

⇒未開設診療科の取扱についても、外来だけなのか、入院も行うのか、そうしたことも含めて千葉大とも協議している。【増田理事長】

中項目2 人材の確保

(1)千葉大学医学部附属病院東金九十九里地域臨床教育センターとの連携 特になし

(2)医師の確保

●麻酔科医など予定を上回る医師の確保は、非常に評価できる。

臨床研修指定病院の指定に向けた状況はどのようになっているのか。

⇒医局から派遣されている初期研修医が4名いるが、独自プログラムで育成するという段階には至っていない。得意な分野で引き受けることが効率的であると考えている。【増田理事長】

●単独での指定は難しいと思うが、若い医師は病院の活力にもなることから引き続きお願いしたい。

⇒必修である救急をもっていない病院の研修医に周知している。【増田理事長】

(3)看護師の確保

●非常に計画的に実施されており、定着率も89%である。この地域は、看護師の確保が非常に難しい地域であると近隣の病院からも聞いている。非常に努力した結果であり、フルオープンに向け、引き続き計画的に採用を実施していただきたい。

●医師・看護師の確保については、評価4としてもいいのではないか。

⇒ようやくこれまでの取組みが実を結んで、この地域の中でも働きたい病院として選ばれつつあるようになってきた。看護学生の実習も4大学から受け入れを行っているが、次年度以降は他の大学からも実習の依頼が来ている状況である。この地域になかった救急や急性期の病院として、若い看護師にとっても魅力的な病院になりつつある。【石原看護部長】

中項目3 人材育成 特になし

中項目4 働きやすい職場環境の整備

●優秀な医師が多いと認識しておりますが、そうした人材をほしがる病院もある。人材の流出が懸念される。

⇒そうした懸念はあるが、医師が入れ替わったほうが、病院は活性化していくと捉えている。【増田理事長】

中項目5 職員給与の原則 ※事前意見あり

第4 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置

中項目1 健全な経営基盤の確立

(1)健全な経営基盤の確立

●平成32年度までに経常収支比率100%を達成するという目標に対して、どのような方策があるのか。

⇒収入については、まずは医業収益を伸ばす必要がある。そのために様々な形で病院を知ってもらうことに努めている。費用については、薬剤や材料費の購入の見直しを図っている。委託業務についても費用対効果を踏まえ、仕様を検討していきたい。職員の内製化を図ったものについても、改めて効果等を検証し、見直しを図っていく。【宇野事務部長】

●委託業務を内製化したが経費削減が図れなかった状況があったようだが。

⇒第2四半期以降に委託に切り替えた効果がでると考えている。外来分のレセプトについて、委託にしたことで、返戻率などが向上しており、経費を上回る収入が見込まれる。【宇野事務部長】

●運営状況の説明会は、各部門責任者を対象としたものか。

⇒全職員を対象として開催している。【宇野事務部長】

●運営会議はどの程度開催されているのか。

⇒月2回開催している。【宇野事務部長】

●本来スタートする時点で準備すべきものが、やっと揃ってきた感じがする。今後も収入支出の改善を行いながら進めていただきたい。

(2)経営情報システムの整備 特になし

中項目2 収益の確保と費用の合理化

(1)収益の確保 ※事前意見あり

(2)費用の合理化 特になし

第5 その他業務運営に関する重要事項を達成するためとるべき措置

中項目1 財政負担の原則【※評価対象外】

中項目2 地域に対する広報

●東千葉メディカルセンターを知っていただくためにPR活動は重要なことと考えている。特に医

療水準の高さや新しい病院施設の魅力を積極的にアピールしていただきたい。

⇒特別支援学校の3年生を職場実習として受け入れた。今後、そうした職域の拡大にもつなげていきたい。また、中学生の職場体験学習の依頼もあり、少しずつ病院の存在が地域に浸透してきているものと捉えている。【宇野事務部長】

中項目3 ボランティアとの協働

●ボランティアとの協働を推進していただきたい。花植えのほか、案内などで協力したいという声もある。そのような活躍の場を提供していただきたい。

⇒現在、院内の案内業務について、どのような体制がとれるか協議をしている。【宇野事務部長】

1号議案採決

第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置（大項目評価3）

- ・1 救急医療について、評価3に決定
- ・2 地域の中核病院として担うべき医療について、評価3に決定
- ・3 高度の専門医療について、評価3に決定
- ・4 安全・安心で信頼される医療について、評価3に決定
- ・5 患者・住民サービスの向上について、評価3に決定
- ・6 地域医療への貢献について、評価3に決定
- ・7 メディカルセンターの段階的な診療科の開設と病棟の開設について、評価3に決定

第3 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置（大項目評価3）

- ・1 効率的かつ効果的な業務運営体制の整備について、評価3に決定
- ・2 人材の確保について、評価3に決定
- ・3 人材の育成について、評価3に決定
- ・4 働きやすい職場環境の整備について、評価3に決定
- ・5 職員給与の原則について、評価2に決定

第4 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置（大項目評価2）

- ・1 健全な経営基盤の確立について、評価2に決定
- ・2 収益の確保と費用の合理化について、評価2に決定

第5 その他業務運営に関する重要事項を達成するためとるべき措置（大項目評価3）

- ・1 財政負担の原則について 【評価対象外】
- ・2 地域に対する広報について、評価3に決定
- ・3 ボランティアとの協働について、評価3に決定

全体評価

- ・評価C「計画をやや下回り、若しくは計画よりもやや遅れていると認められる。」に決定
- 全体として中期目標を達成しているとまでは評価できない。
- 今までの懸案がかなり処理されてきている。細かい手直しで十分改善が見込める。